

権現峠のイヌシデ（未指定）

所在地：庄原市東城町保田

指定年月日：未指定

所有者：不明

根回り周囲：3.36m

樹高：約 25m

イヌシデは、カバノキ科の落葉高木で、本州・四国・九州の山野に自生する。高さは 15～20m、樹皮は灰白色でなめらかであり、縦に綱目模様ができる。花期は 4～5 月頃、雌雄異花で花序は穂状で下垂する。葉の側脈の間に白い毛が多くあり、秋には葉が黄色く紅葉する。庭園木として利用される。かつては炭材として利用されていた。名前の由来は、花穂の垂れ下がる様子が、注連縄などに使われる紙垂（しで）に似ているからといわれている。

県道の法面に位置する本樹は、主幹が地上 1.80m で3枝に分岐する。主幹分岐部の周囲 2.65m、第2分岐部周囲 2.00m、第3分岐部の周囲 1.80m となっている。県道の斜面沿って 5 本が隣接しており、境界木として大切にされたものと思われる。

